

お金にまつわる意識調査レポート 2021年版 80%がお金の相談経験がない

～資産管理サービス「Moneytree」利用者の約14,000人がオンライン回答～

マネーツリー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：ポール チャップマン、以下「当社」）は、当社が提供する個人資産管理サービス「Moneytree」の利用者に向け、お金にまつわる意識調査を実施しました。本調査は、「お金に関する相談について」と「資産管理アプリの利用者について」という2つのテーマに対して、アクティブな利用者層にアンケートへの協力を依頼し、14,460人から回答を得ることができました。

コロナ禍で収入の変化や原材料価格の高騰など、前年から引き続き2021年もお金に対する不安に、多くの消費者が直面しました。金融サービス提供者の視点では、金融サービス仲介業制度が本年11月にスタートしたこともあり、これまで提案することがなかった金融サービスを顧客に新しく提案できるようになりました。お金についての相談や資産管理に興味がある「Moneytree」利用者からの回答結果をPDF形式のレポートにまとめました。

代表的な結果：

- お金に関する情報源の第1位は「ニュースサイト」
- Moneytreeを使い始めた目的は「家計の見える化」
- 「使いやすさ」がMoneytreeを使い続ける理由の第1位
- 78%がMoneytreeで家計管理の改善を実感
- 最もよく使う決済手段はクレジットカード
- 1年以内の目標は「資産を増やす」こと
- Moneytree IDの認知度が上昇

お金にまつわる意識調査レポートについては、下記よりダウンロードが可能です。

2021年現在のお金に対する意識の変化が垣間見える調査結果になっていますので、消費者向けの金融サービスや金融商品を開発、提供している企業の皆さまの参考として、ぜひご活用いただきたいと思います。

お金にまつわる意識調査レポートをダウンロード

<<https://getmoneytree.com/submission/2021-moneytree-app-user-survey-report>>

また、[ブログ記事](#)では、お金に関する相談を専門家にした際の内容などもご覧いただけます。

<<https://getmoneytree.com/link-blog-article-jp/guest-survey-report-2021>>

「お金にまつわる意識調査」概要

実施時期：2021年9月29日~10月05日

調査対象：個人資産管理サービス「Moneytree」利用者 14,460名

調査手法：インターネットでのアンケート調査

マネーツリーについて

2012年に日本で創業。金融データプラットフォーム「Moneytree LINK®」をベースに、個人資産管理サービス「Moneytree®」および、企業向けにデータ連携サービスを提供しています。国内では現在、金融・会計業界の標準APIとして認知され、人々に信頼されるデータプラットフォームの構築を目指しています。フィデリティ・インターナショナル、米国セールスフォース・ドットコム、三大メガバンク系ファンド、SBIインベストメント、地域金融機関系ベンチャーキャピタル、海外大手運用会社から出資を受けています。

Moneytree LINK について

Moneytree LINK は、国内 2,500 以上の銀行口座、クレジットカード、電子マネー、マイル・ポイントカード、証券口座の金融データを集約する API を提供しています。マネーツリーのコアバリューはサービスにおける業界最高水準のセキュリティ、プライバシー保護、透明性の実現。Moneytree LINK は金融業界を中心に、新しい価値を提供する中立性の高い金融データプラットフォームとして認知され、現在、みずほ銀行、三井住友銀行、弥生、TKC、地方銀行、信用金庫など合計 80 社以上に採用されています。

ウェブサイト：<https://link.getmoneytree.com/>

会社概要

会社名：マネーツリー株式会社

代表取締役：ポール チャップマン

資本金：33 億円（資本準備金含む） 2021 年 3 月末時点

設立日：2012 年 4 月 23 日

ウェブサイト：<http://www.getmoneytree.com>

本件に関するお問い合わせ先

マネーツリーPR 事務局（プラップジャパン内）担当：坂川／黄（コウ）／沖山

Moneytree@prap.co.jp | 03-4580-9134